

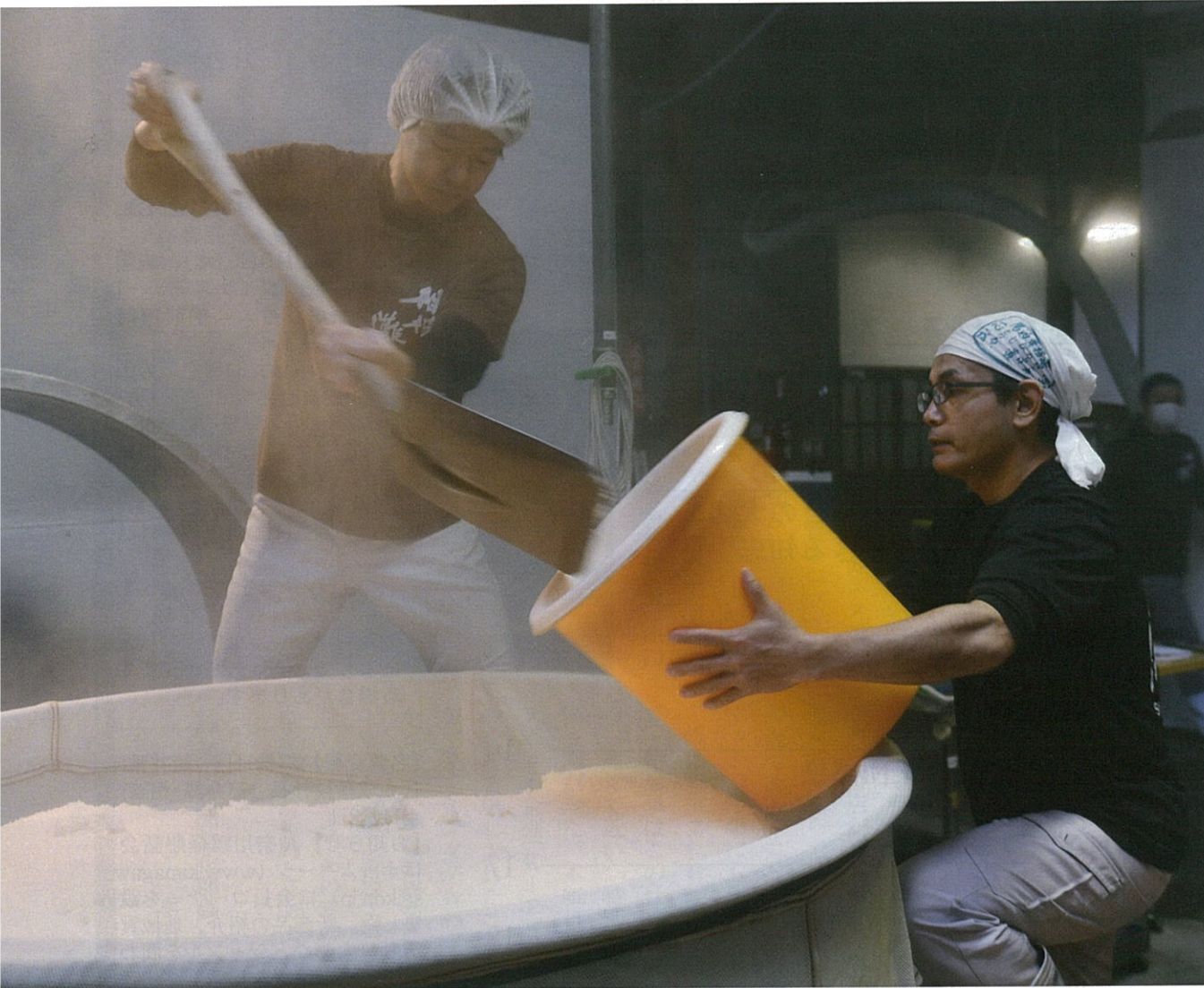
2020 11/24

No.2127

毎月第2・第4火曜日発行

# 政経 かながわ

一般社団法人  
— 神奈川政経懇話会 —



日本酒の本格的な仕込み作業が、山あいにある酒蔵「久保田酒造」で始まった。新酒は12月1日から出荷される。



視点点描	3
緒形拳とその時代	
国際	4
バイデン政権「短命」の予測 選挙後も分断と漂流続く	
デモクラシーの現場から	8
立ち上がる安倍政権継承	
新型コロナウイルス	10
病院、ネットで資金集め 感染防止教室や資材購入	
経済	12
いま「お金」を学ぶことの大切さ 不確実な時代を生きる知恵	
くらし2020	14
血友病は女性も注意が必要	
アジアの風	16
まにら新聞でも集団感染	
NNAアジア経済レポート	17
神奈川県景気データファイル	18
神奈川県景気データファイル	19

### 事務局だより

◇2020年12月定例講演会  
=シンポジウム・昼食  
2020年12月9日(水)、崎陽軒本店4階「ダイナスティー」  
▽シンポジウム 午前11時～午後0時30分  
パネリストは共同通信社の山根士郎・政治部長、宮野健男・経済部長、近澤守康・外信部長。コーディネーターは神奈川新聞社の鈴木達也・論説主幹。演題は「2021年の動向を読む」  
▽昼食 午後0時30分～1時30分  
お席にお弁当をご用意します。持ち帰りもできます。  
※新型コロナ感染拡大の状況によっては開催方法を変更する場合があります。

【名義変更】▽(株)日新:筒井雅洋・代表取締役社長(筒井博・相談役)  
=11月2日

【お知らせ】神奈川県政経懇話会ではホームページ(www.kanagawa-seikon.jp)に会員コーナーを設けました。新商品の紹介、地域貢献活動、人事などジャンルを問わずさまざまな情報を掲載します。問い合わせは事務局 ☎045(226)2121。

# 視点 点描



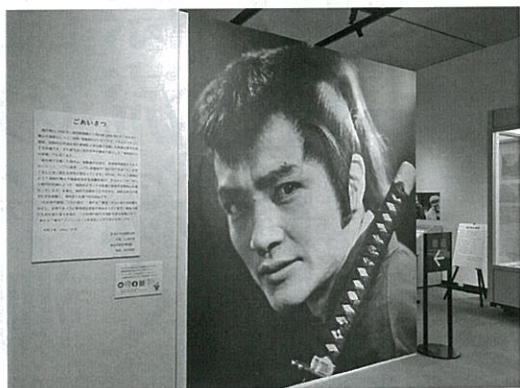
## 緒形拳とその時代

横浜市鶴見区に長く暮らし、12年前に71歳で亡くなった戦後を代表する俳優、緒形拳の足跡をたどる企画展「俳優 緒形拳とその時代」が横浜市歴史博物館で12月6日まで開催されている。目まぐるしく移り変わる時代を生き抜いた緒形の活躍を通して戦後の大衆文化史を俯瞰し、現代史に位置付ける試み。緒形の遺品を預かり、調査研究を進めている東海大と同館

が企画した。

緒形は1958年に入団した劇団「新国劇」を皮切りに、舞台、映画、テレビと縦横無尽に活躍の場を広げた。テレビの登場により、舞台や映画が大きく影響を受け、さらにインターネットの登場によって既存のメディアが急激に変容した時代とも重なる。会場には出演作の台本やパンフレット、写真など、緒形自身が網

羅的に残した資料に加え、非凡な才能を発揮した書画や陶芸作品など300点余りが並ぶ。味わい深い手書きの文字で書き込まれた台本や自身の代表作に挙げていた映画「楢山節考」での仏カンヌ映画祭パルム・ドール受賞トロフィー。その近くには1980年、鶴見にあった京浜映画劇場で第1回が行われたヨコハマ映画祭で主演男優賞を受賞したときの賞状も。出口



近くにしたらえられたコーナー「拳さんが通った横浜」には、ホテルニューグランドや馬車道十番館、散歩コースだった総持寺、地元中華料理店の満州園、古書店の西田書店がパネル紹介される。地元開催ならではの仕立てで、この地で家庭を営み、暮らしたハマツ子の素顔にも出合える。

鶴見で生まれ育った筆者にとつて、緒形拳はこの仕事に就く前から、遠くて近い、特別な存在の俳優さんだった。本紙日曜版のインタビュー企画「KEEPERSON」の取材を申し入れたこともあったが、タイミングが合わずかなわなかった。「またの機会にぜひ」と丁寧なお返事を自筆のファクスで頂いた。そう、あの味のある字で、亡くなる前年のことだったと記憶している。

(神奈川新聞文化部長

高田 久美子)